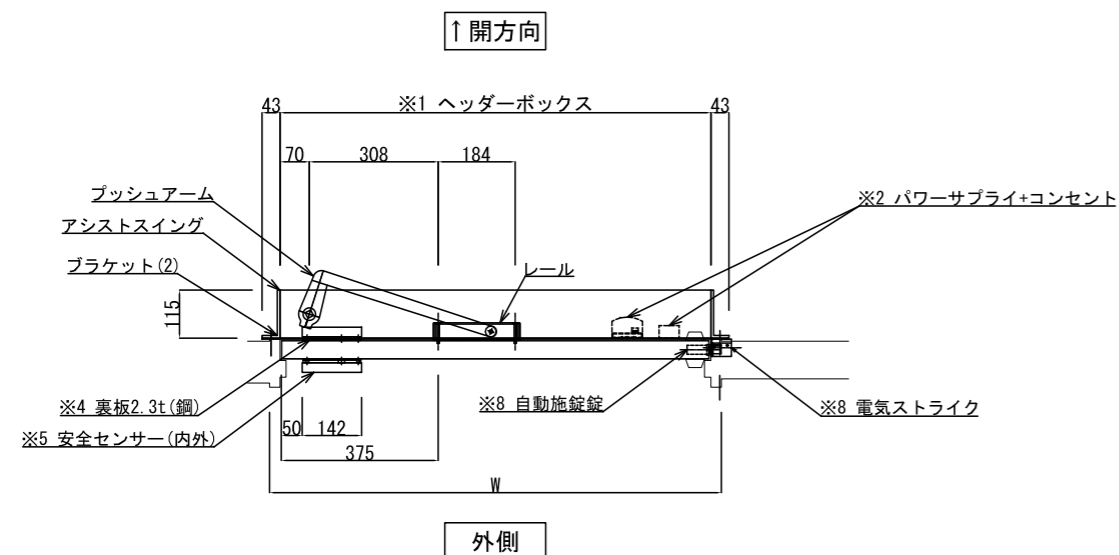
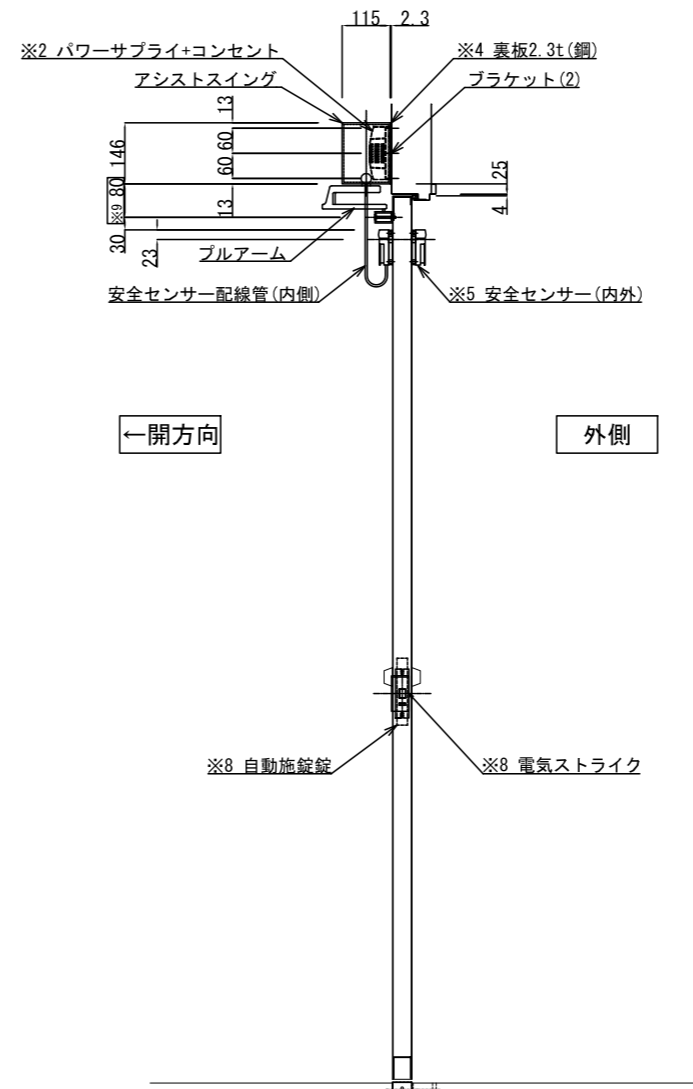
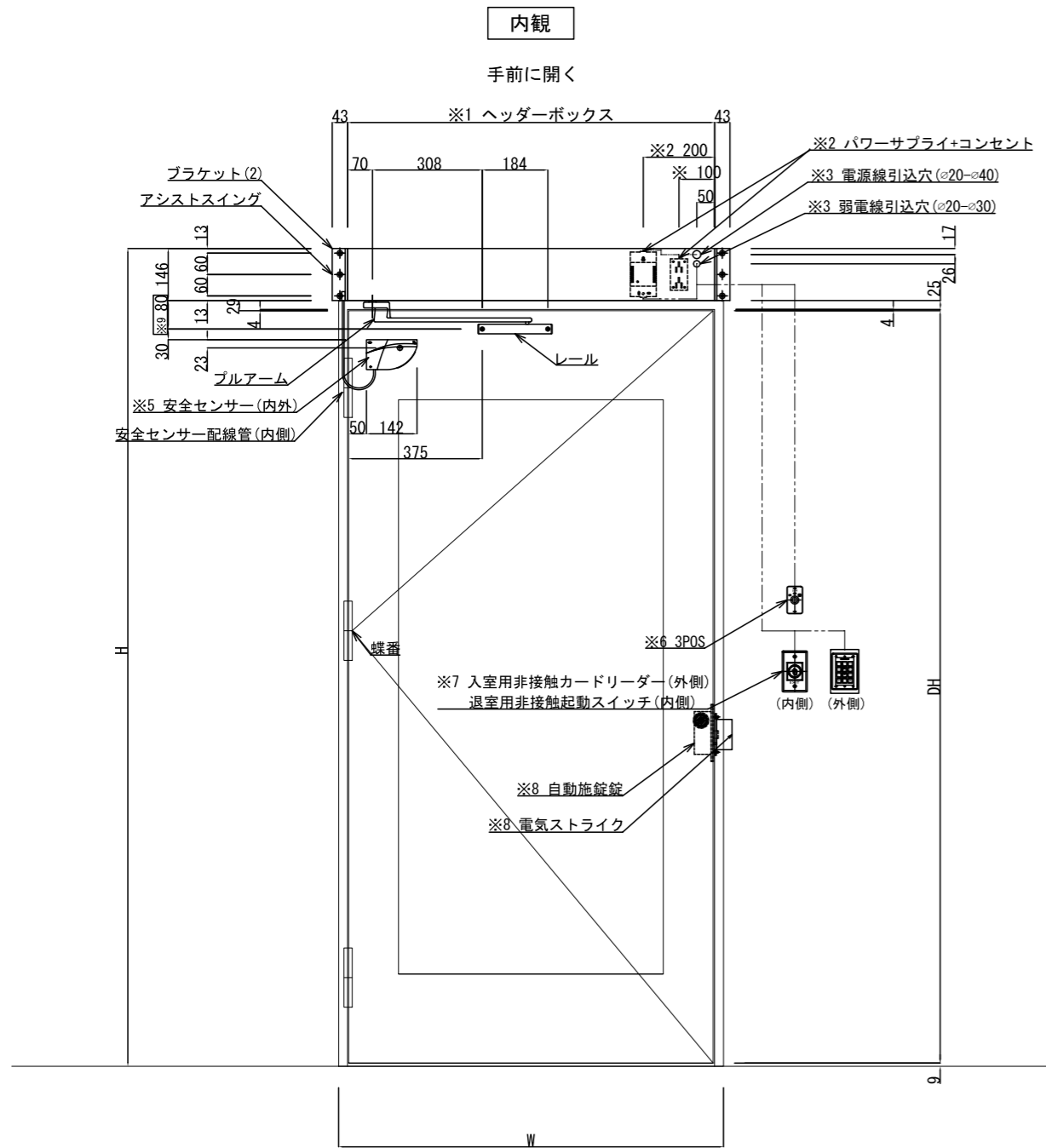


2-1
片開・引側(LH)
蝶番吊

本図は左勝手です。

商品名	品番
アシストスイングH. D.	9531-ANCLR-LH(内開)
入室用カードリーダー	E5AK
退室用起動スイッチ	RTS-1000
電気ストライク	GK1300
パワーサプライ	PSM-25T
3ポジションスイッチ	8310-906R
安全センサー	Flat Scan (内側x1/外側x1)
自動施錠錠	ご指定ください

アシストスイングH. D. 標準梱包
<ul style="list-style-type: none"> 電気-機械式モーターギアボックス マイクロプロセッサ式コントロールボックス アルミ製ヘッダー プルアーム組品
アシストスイングH. D. 標準仕上
<ul style="list-style-type: none"> クリアアルマイト仕上：シルバー色 ダークブロンズアルマイト仕上：こげ茶 特注色は要お打合せ(焼付塗装etc..は別見積) ダイノックシート貼り(別見積)
アシストスイングH. D. 最大ドア重量
<ul style="list-style-type: none"> 入力電源：100V 50 / 60Hz 1.5A 制御電圧：24VDC 出力電圧：24VAC 最大ドア重量：130Kg/枚(金物含む) 解放角度：90°



※1 ヘッダーボックスの寸法は枠内々幅と同寸法です。発注時にご指示ください。(W=最小914mm,最大2413mm)

※2 パワーサプライ及びコンセント(2口・アース付き)はヘッダーボックス内に引込み設置してください。ヘッダーボックスに入らない場合はプルボックスを設置し、その中に設置してください。設置位置は現場調整を行ってください。

※3 強電線引込穴(φ20-φ40)・弱電線引込穴(φ20-φ30)を開けてください。

※4 ヘッダーボックスの取付に際し、必ず上枠上部に裏板(全面)2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。また、アーム座の取付部(ドア)にも必ず裏板を入れてください。既存ドアに取り付ける場合、上枠上部に表板2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。

※5 安全センサーはアプローチ側(押側)とセーフティ側(内側)の両面に設置します。

※6 3POS(3ポジションスイッチ):ドア開放保持の際に使用します。(オプション)

※7 入室用カードリーダー等の外側起動接点については打ち合わせが必要です。(カードリーダーのコントローラーからの起動接点受けが必要です)

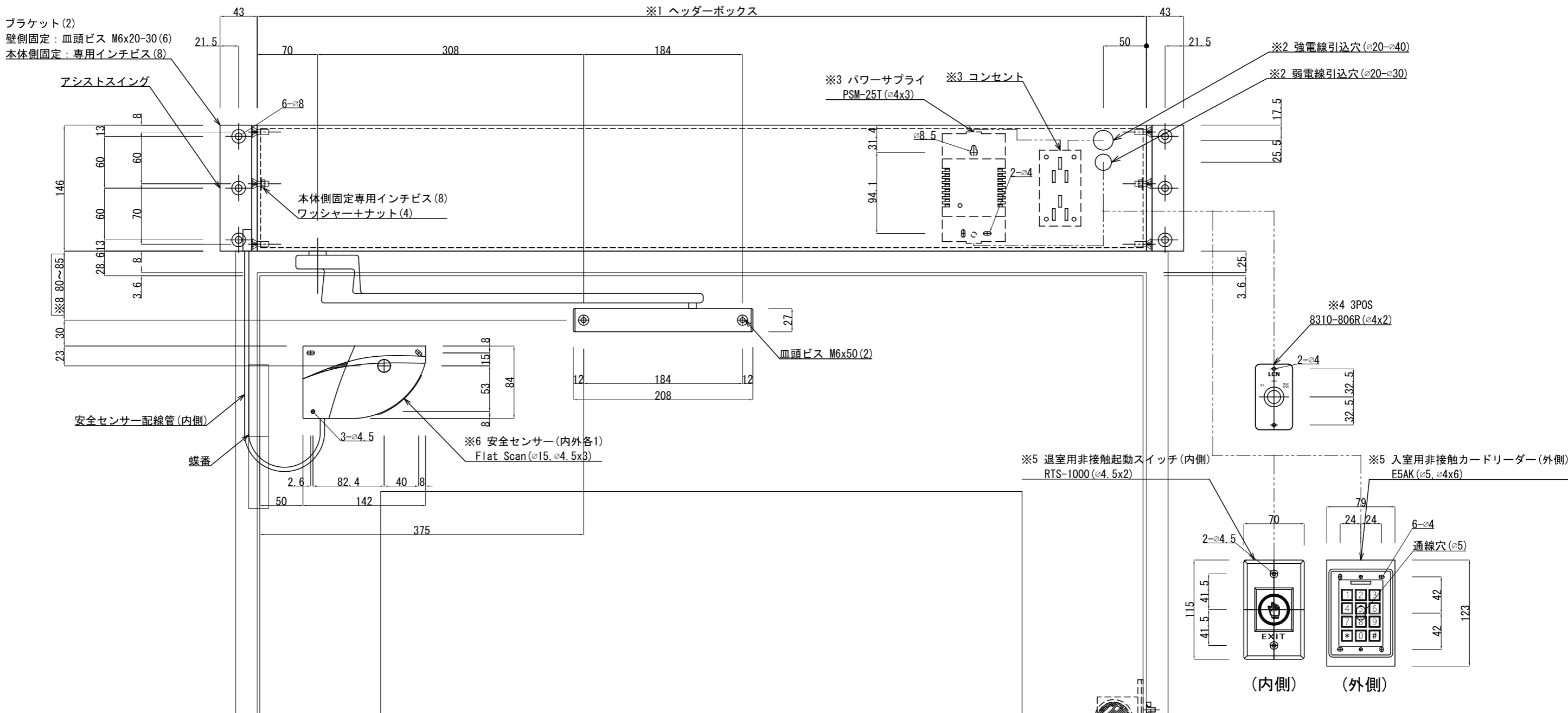
※8 既存の電気錠は使用不能にし、ドアと枠に電気ストライクと自動施錠錠を新たに設置します。

※9 ヘッダーボックス底面からアームレールピス中心までの高さ位置は、現場にて調整を行ってください。

内観
手前に開く

2-2
片開・引側(LH)
蝶番吊

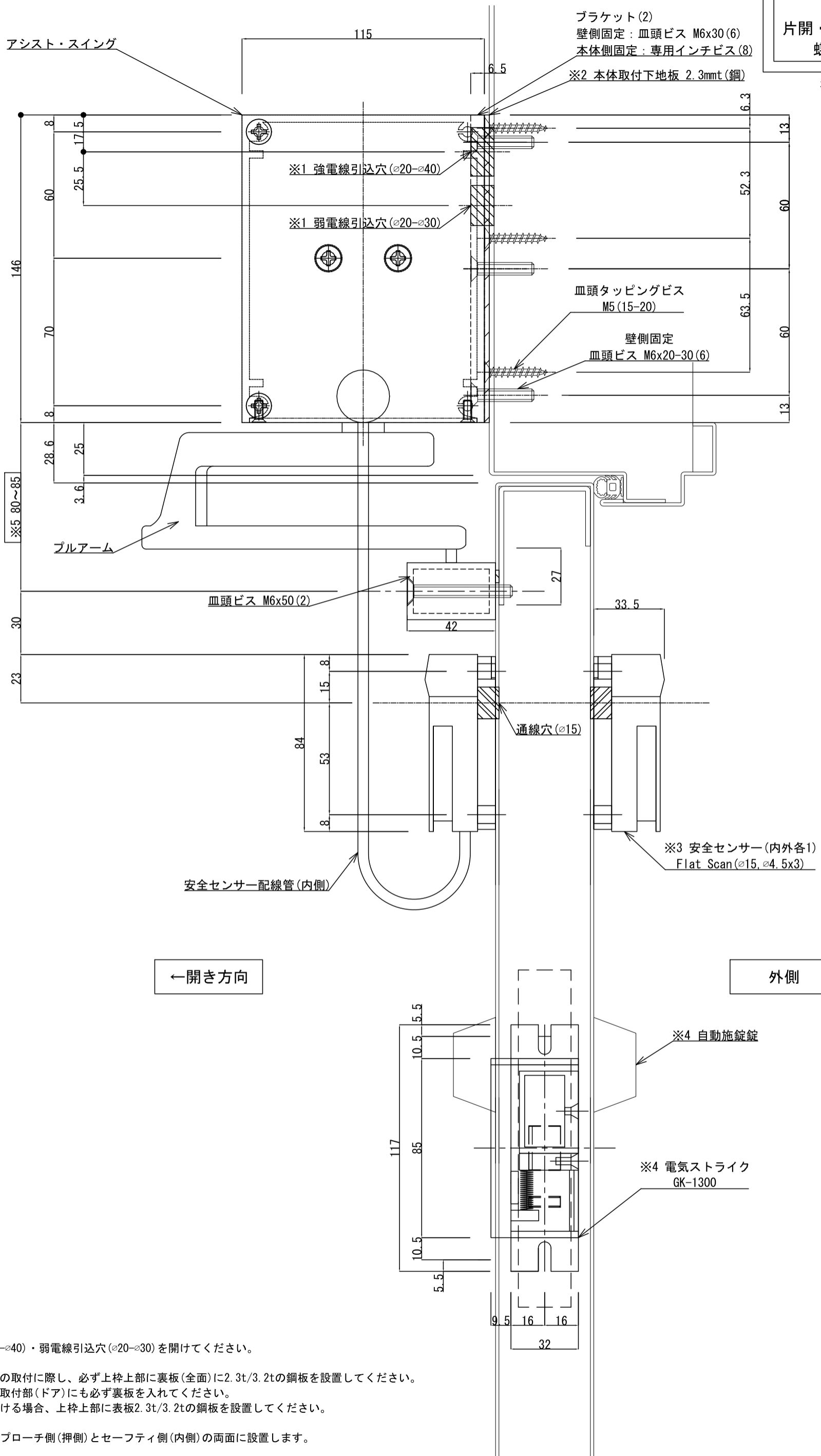
本図は左勝手です。



- ※1 ヘッダーボックスの寸法は枠内々幅と同寸法です。発注時にご指示ください。(W=最小914mm, 最大2413mm)
- ※2 強電線引込穴(φ20-φ40)・弱電線引込穴(φ20-φ30)を開けてください。
- ※3 パワーサプライ及びコンセント(2口・アース付き)はヘッダーボックス内に引込み設置してください。ヘッダーボックスに入らない場合はプルボックスを設置し、その中に設置してください。設置位置は現場調整を行ってください。
- ※4 3POS(3ポジションスイッチ): ドア開放保持の際に使用します。(オプション)位置は現場調整を行ってください。
- ※5 入室用カードリーダー等の外側起動接点については打ち合わせが必要です。(カードリーダーのコントローラーからの起動接点受けが必要です)位置は現場調整を行ってください。
- ※6 安全センサーはアプローチ側(押側)とセーフティ側(内側)の両面に設置します。
- ※7 既存の電気錠は使用不能にし、ドアと枠に電気ストライクと自動施錠錠を新たに設置します。
- ※8 ヘッダーボックス底面からアームレールビス中心までの高さ位置は、現場にて調整を行ってください。

2-3
片開・引側(LH)
蝶番吊

本図は左勝手です。

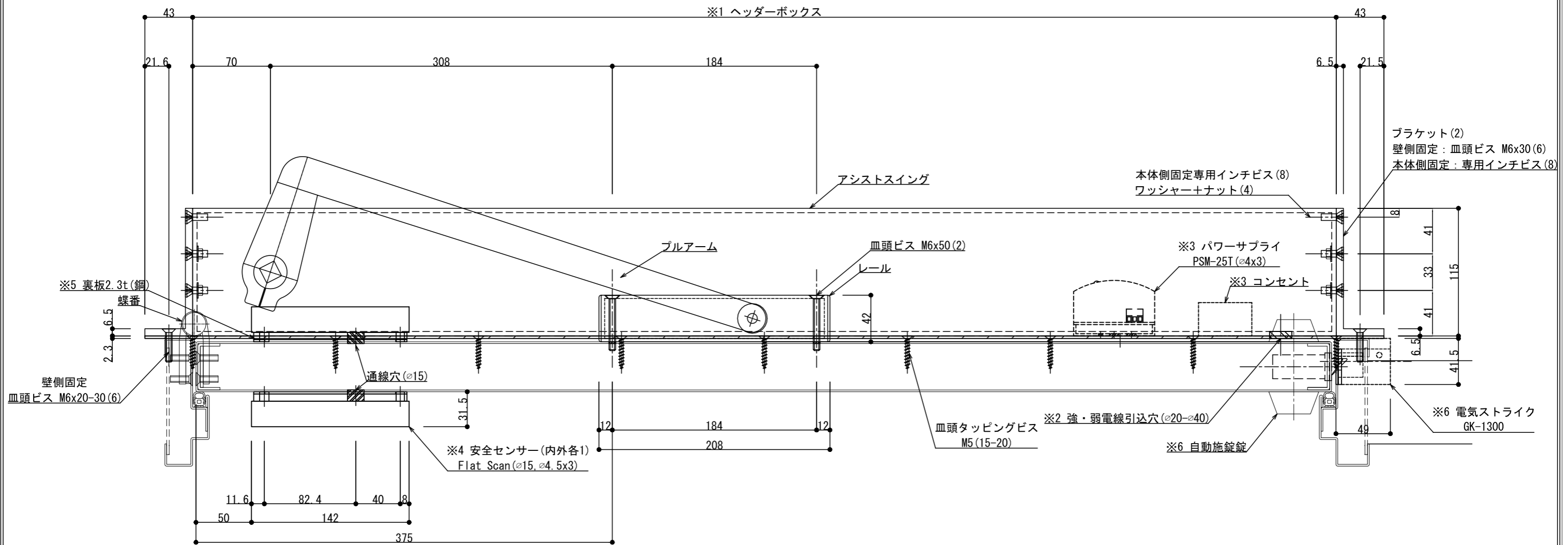


- ※1 強電線引込穴(φ20-φ40)・弱電線引込穴(φ20-φ30)を開けてください。
- ※2 ヘッダーボックスの取付に際し、必ず上枠上部に裏板(全面)に2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。また、アーム座の取付部(ドア)にも必ず裏板を入れてください。既存ドアに取り付ける場合、上枠上部に表板2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。
- ※3 安全センサーはアプローチ側(押側)とセーフティ側(内側)の両面に設置します。
- ※4 既存の電気錠は使用不能にし、ドアと枠に電気ストライクと自動施錠錠を新たに設置します。
- ※5 ヘッダーボックス底面からアームレールビス中心までの高さ位置は、現場にて調整を行ってください。

2-4
片開・引側(LH)
蝶番吊

本図は左勝手です。

↑開方向



外側

※1 ヘッダーボックスの寸法は枠内々幅と同寸法です。発注時にご指示ください。(W=最小914mm, 最大2413mm)

※2 強電線引込穴(φ20-φ40)・弱電線引込穴(φ20-φ30)を開けてください。

※3 パワーサプライ及びコンセント(2口・アース付き)はヘッダーボックス内に引込み設置してください。ヘッダーボックスに入らない場合はプルボックスを設置し、その中に設置してください。設置位置は現場調整を行ってください

※4 安全センサーはアプローチ側(押側)とセーフティ側(内側)の両面に設置します。

※5 ヘッダーボックスの取付に際し、必ず上枠上部に裏板(全面)2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。また、アーム座の取付部(ドア)にも必ず裏板を入れてください。既存ドアに取り付ける場合、上枠上部に表板2.3t/3.2tの鋼板を設置してください。

※6 既存の電気錠は使用不能にし、ドアと枠に電気ストライクと自動施錠錠を新たに設置します。